

(別記様式第15号)

令和3年度学校林等利活用促進事業進捗状況報告書

事業	学校林等利活用促進事業
主体名	実務者(説明者)氏名： 教頭 吉越 利充

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	学校林等利活用促進事業
事業費 100 千円 (うち森林づくり県民税： 90 千円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林への愛着を育て、さらに自然愛、郷土愛を育成するため、地域や同窓会、PTA の協力を得て下枝払いや下草刈り作業等の体験活動を行っている。しかし、樹木の生長に伴う林縁部支障木があり、自然災害による倒木がある。

(2) 本事業の目的

支障木の整備により、生徒の体験活動を安全に行うため

事業内容

(1) 実施場所 上田市菅平高原

(2) 対象者 菅平中学校生徒

(3) 実施方法

業者による支障木伐採作業、下枝払い及び下草刈り

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (2018年度～ 年度) ※隣接施設に倒木の危険がなくなるまで継続する。

②令和3年度進捗状況

F



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

生徒が安全に体験活動を行い、森林に関心を持つことができる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

継続して実施することで、災害に強い健全な森林づくりができる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

継続して実施することで、隣接するサニアパークを利用する方が安全に過ごせる。

伐採木を活用した地域興し事業の実施。(看板設置等)

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

倒木の整理や下枝払いにより、生徒の体験活動がしやすくなった。

(2) 課題

伐採木の体験学習等への活用を検討する。

(3) 次年度以降の取組方向

■事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和4年度以降も今年度までの事業量の規模で整備を進めていく。

□事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

□事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業の制度等に対する要望等

-
-
-
-